

『絶滅事典 20世紀末モノ&コトカタログ』

(造事務所／編著)

カンゼン 049 /セ /

<https://ili>

『つわものの賦』

(永井 路子／著)

文藝春秋 210.4 /ナ /

<https://ili>

「うわ～あったわぁ～」と懐かしくなる一冊。

1970年代から90年代に存在した300のモノやコトバを
ランクづけしています。

全部わかるのって、40代以上の人なんだろうか…。自分の
年齢がバレちゃうけど、わたしは分かりました笑
中でも衝撃だったのが「はだ色」表記がなくなっている
という事実…。今では「うすだいたい」「パールオレンジ」
という呼称を使っているのだとか。

逆に今では当たり前に使っているコトバでも、そのうち
消えていくものがあるんだろうな～。

まだ少し気が早いですが、2022年のNHK
大河ドラマは『鎌倉殿の13人』です。主
演は 小栗旬 さん。舞台は平安期が終わり、
東国武士団による鎌倉幕府の誕生、と同時に
権力を求めて醜い親子兄弟の争いに突
入……。

主役はその勝利者、北条義時。この本はど
うやってここまでのぼりつめたかを描く。先
人たちの教えや駆け引きの大切さも歴史は教
えてくれる。最後に残るのは誰なのか、歴史
は語ってくれる。中世史の幕開けに魅了され
る。

『不思議で怪しいきのこのはなし』

(ホクトきのこ総合研究所／監修)

清水書院 474.8 /フ /

<https://ili>

『haru_mi Haru_mi vol.61(2021秋)』

(栗原 はるみ／著)

扶桑社 596 /ク /

<https://ili>

食卓でおなじみのきのこ。身近な食材ですが、
私たちが普段よく食べるのは、しいたけ・ぶなし
めじ・えのき・エリンギ等5.6種類ぐらいでしょ
うか。本書では森の代表的なきのこ104種をイラ
ストで紹介しています。これがきのこ・・・？と思
うような形のものや、不気味な色のもの、光るも
のなど、知れば知るほど奥深い（ちょっと怖い）
きのこの世界。個人的に気になるきのこは「オニ
フスベ」はんぺんのような食感だそう。写真を見
る限り真っ白な球体で、きのこには見えません。
レシピや豆知識なども載っているので、きのこを
楽しむのにピッタリな一冊です。

『すてきレシピ』から、通算100号となる本誌が最
終号となります（泣）。とても美味しそうな写真に惹か
れてレシピを見ると、スーパーで手軽に買える材料で煩
雑な手順なく作れます。そんな美味しい料理の数々にど
れだけ助けられたことでしょうか。わが家の定番になった
レシピもたくさんあります。普段の暮らしを大切にしてい
るはるみさんの生き方と、それが見えるこの本がとて
も好きでした。『これからは自分が本当にやりたいこと
を余裕を持って丁寧にやっていきたい』とのこと。新し
いステージの始まりですね。はるみさん、お疲れさまで
した、ありがとうございました。

『楽しんでキレイが続くシンプル収納』

(aki/著)

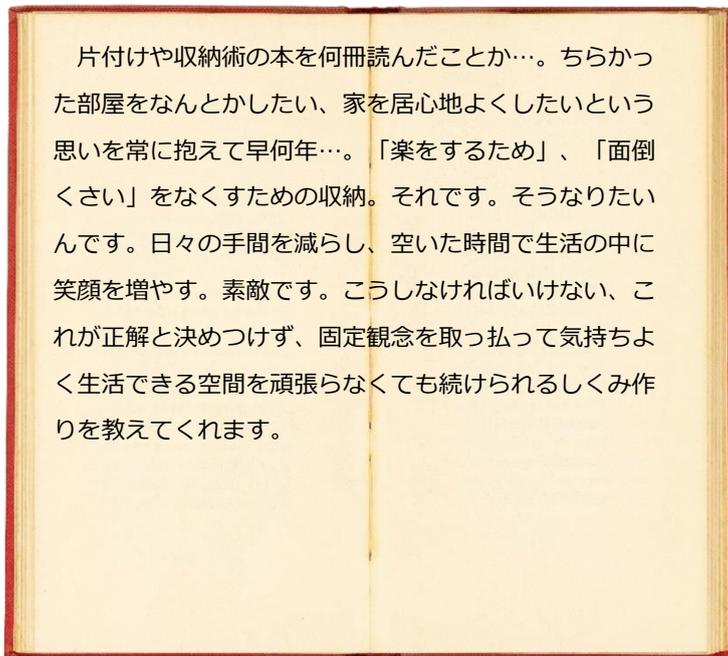
あさ出版 597.5 /ア /

『作家と酒』

(平凡社編集部/編)

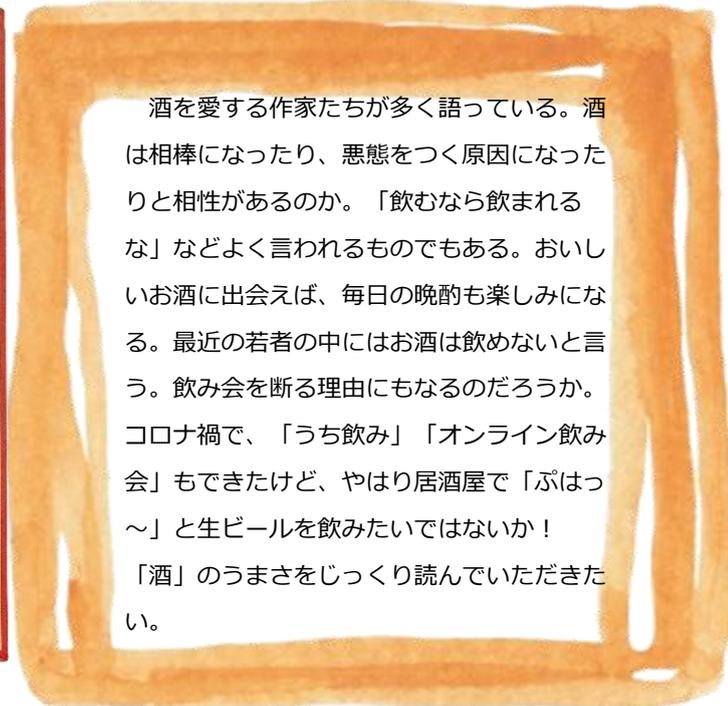
平凡社 Z /サ /

<https://ili>



片付けや収納術の本を何冊読んだことか…。ちらかった部屋をなんとかしたい、家を居心地よくしたいという思いを常に抱えて早何年…。「楽をするため」、「面倒くさい」をなくすための収納。それです。そうなりたいんです。日々の手間を減らし、空いた時間で生活の中に笑顔を増やす。素敵です。こうしなければいけない、これが正解と決めつけず、固定観念を取っ払って気持ちよく生活できる空間を頑張らなくても続けられるしくみ作りを教えてください。

<https://ili>



酒を愛する作家たちが多く語っている。酒は相棒になったり、悪態をつく原因になったりと相性があるのか。「飲むなら飲まれるな」などよく言われるものでもある。おいしいお酒に出会えば、毎日の晩酌も楽しみになる。最近の若者の中にはお酒は飲めないと言う。飲み会を断る理由にもなるのだろうか。コロナ禍で、「うち飲み」「オンライン飲み会」もできたけど、やはり居酒屋で「ぶはっ〜」と生ビールを飲みたいではないか！「酒」のうまさをじっくり読んでいただきたい。

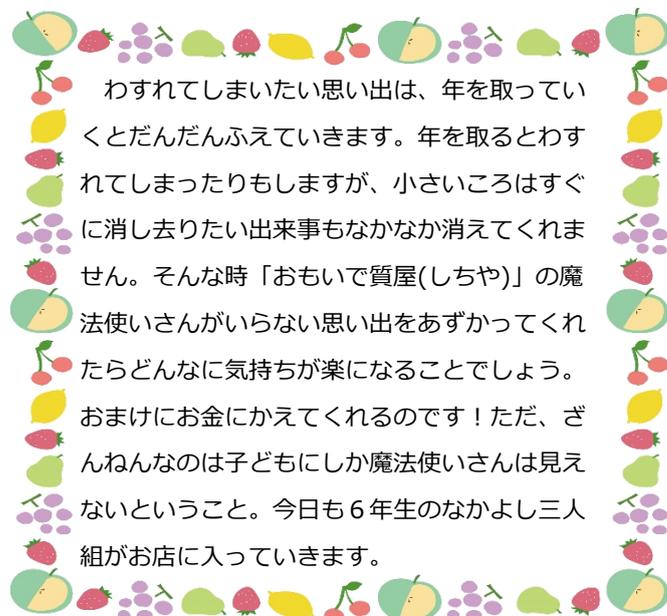
『崖の下の魔法使い』

(吉野 万理子/作)

学研プラス 913 /ヨ /



<https://ili>



わすれてしまいたい思い出は、年を取っていくとだんだんふえていきます。年を取るとわすれてしまったりもしますが、小さいころはすぐに消し去りたい出来事もなかなか消えてくれません。そんな時「おもいで質屋(しちや)」の魔法使いさんがいらない思い出をあずかってくれたらどんなに気持ちが楽になることでしょうか。おまけにお金にかえてくれるのです！ただ、ざんねんなのは子どもにしか魔法使いさんは見えないということ。今日も6年生のなかよし三人組がお店に入っていきます。

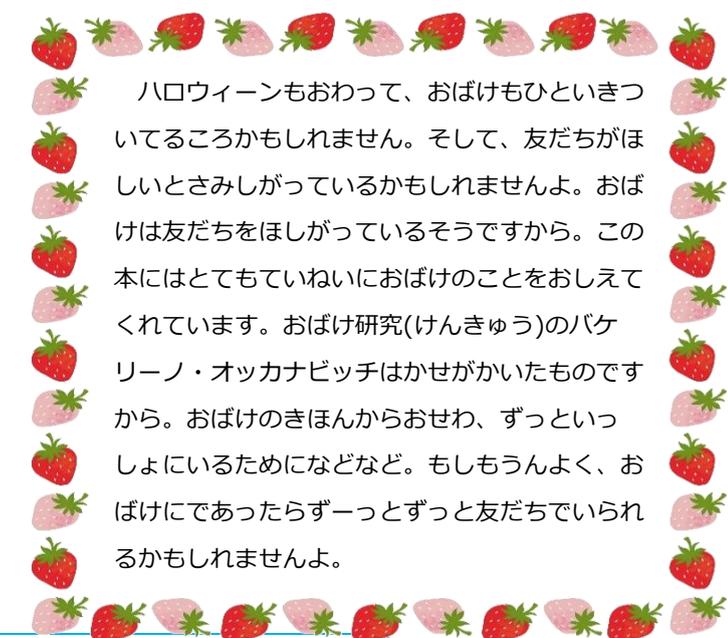
『おばけと友だちになる方法』

(レベッカ グリーン/作)

福音館書店 E /グ /



<https://ili>



ハロウィーンもおわって、おばけもひといきついているころかもしれません。そして、友だちがほしいとさみしがっているかもしれませんよ。おばけは友だちをほしがっているそうですから。この本にはとてもいいねにおばけのことをおしえてくれています。おばけ研究(けんきゅう)のパケリーノ・オッカナピッチはかせがかいたものですから。おばけのきほんからおせわ、ずっといっしょにいるためになどなど。もしもうんよく、おばけにであつたらずーとずーと友だちでいられるかもしれませんよ。

問い合わせ先

苅田町立図書館 ☎093-436-0946

開館時間：9：30～17：30 (木・金は19：00まで。本館のみ)

ホームページから蔵書検索もできます



(2021.11.5発行)